



あの元気な会社の採用活動を見てみたい！

新卒採用を若手社員が担う時代へ――ホリシミ

ここ10年間の事業の急拡大で「1100億円企業」の仲間を入りし、倉庫管理面積は東京ドームのグラウンド41個分の規模となつたダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）。同社では1999年から新卒の採用を継続しており、当時50人程度だった社員数はいまでは165人と3倍超に増え、その間、売上も約4倍に拡大。新卒の採用が会社の成長を支えてきたといつても過言ではない。新卒採用開始当初はすべての採用活動を自ら行い、採用に一家言を持つ曾根社長は「エントリーシートや筆記試験は行わない」「学歴、学校名は一切見ない」独自の選考基準を導入するとともに、昨年から社員教育の一環として、新卒採用活動を入社1～3年目の若手社員に「任せた」と新たな取り組みを開始した。

●和く和く日本を1年崩かぬ大公

同社では、入社間もない若手社員に「大きな自信と誇りを持って仕事に励んでほしい」「社会で戯っていけ

会で革っていい
る人材になつて
もらいたい」と
の思いから、わ
くわく仕事をす

の質問に対応
る。 3月28日の会社説明会
くわく仕事をするための「和く
和くプロジェクト(PJ)」を
15年度からスタート。
ンバーは入社
う3年までの若
手社員15人で、
月1、2回の定
例会を行つてい
る。

A black and white photograph showing two women from the Ministry of Health and Welfare, Department of Health Promotion. The woman on the left has short dark hair and is wearing a dark long-sleeved top with a name tag that reads '健康促進司 侯麗玲' (Health Promotion Division, Hou Li-ling). The woman on the right has long dark hair tied back and is wearing a dark blazer over a white collared shirt, also with a name tag that reads '健康促進司 侯麗玲' (Health Promotion Division, Hou Li-ling). They are both smiling and appear to be at a formal event or press conference.

若手社員が会社説明会を企画・運営し、学生からの質問に対応する。同PJの最大のミッショングが新卒採用活動。新卒採用コンサルティングのパル（本社・東京都中央区、釘崎清秀社長）の支援のもと、会社説明会や現場見学会など新卒採

が8グループに分かれ、入社1～3年目（うち1人は4年目）の社員や曾根社長との意見交換会を行った。今後、グループ・2次・最終面接会を経て、4月下旬に内定を行う。

曾根社長は「会社説明会は1年で最も重要な行事」との位置付けを強調し、求める人物像や会社概要を説明。大企業にはない意思決定のスピードの速さをダイワコーポの特徴として挙げ、「（営業マンが）お客様のもとで『フライング』ができる」「社員のチャレンジに対するはノーと言わない」といったスタンスを示した。

統いて、入社3年目の矢野雄太郎さん（東京城南営業所）が、ダイワコーポの企業理念、ミッション、行動指針について、自らの経験を織り交ぜながら紹介。この後、参加者51人



月活動を若手社員が三種類行なって実施、同月では新卒採用のフェイスブック更新や、採用後の内定式や社員旅行の企画・運営も担当する。

3月28日に開催された会社説明会ではまず、入社3年目の佐藤瑞葉さん（本社管理部）が若手社員によるダイワコーポの採用活動について経緯を紹介。続いて、入社2年目の岡部貴洋さん（横浜金沢営業所）がサプライチエーンにおける物流の位置付けや主な機能を解説した。

曾根社長は「会社説明会は1年で最も重要な行事」との位置付けを強調し、求める人物像や会社概要を説明。大企業にはない意思決定のスピードの速さをダイワコーポの特徴として挙げ、「（営業マンが）お客様のもとで『フライング』ができる」「社員のチャレンジに対してもノーと言わない」といったスタンスを示した。

続いて、入社

グループに分かれて学生と交流